

アカデミック英語 No.3

英語面接・口頭試問で論じる ― 30秒で構造化された答えを返す

導入文

英語面接・口頭試問で「答えは持っているのに英語で出てこない」という生徒は多い。これは語彙の問題というより「英語で論じる構造」が身につけていないことが原因だ。大学のアカデミック英語スピーキングの枠組みを使い、30秒で構造化された答えを返す技術を習得する。

講義概要

英語口頭試問・面接を「瞬間訳」ではなく「Position→Reason→Example→Restatement (PREP法)」の構造で組み立てる技術を体系化する。医学部英語面接の典型質問 (Why medicine? / What are the challenges of healthcare?) への対応と、時間内に収める構造化の技術を実践的に習得する。

授業目標：英語面接・口頭試問を「思いついた英語を並べる」から「PREP構造で30秒以内に返す」へ変える。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・上位大の英語面接・口頭試問が課される総合型選抜・推薦入試を受験予定で、英語スピーキングの構造化を身につけたい生徒。

授業時間：授業90分+演習・質疑応答30分

到達目標：PREP構造で英語の答えを30秒以内に組み立てられる／医学部典型質問に構造化された英語で答えられる／沈黙を埋めるつなぎ表現を使いこなせる

授業構成 (90分) + 演習・質疑応答 (30分)

授業90分：1 導入：「英語で詰まる」原因を構造の欠如として整理 2 概念導入：PREP法 (Position・Reason・Example・Restatement) を説明 3 基礎練習：短い質問にPREP30秒で答える訓練 4 医学部典型質問：Why medicine? / Challenges in healthcare? を処理 5 応用：予期しない質問に構造を当てはめる練習 6 つなぎ表現：Well / That's a good question / In my viewなどを整理 7 まとめ：「まず立場を一文で言う」習慣を固定

追加30分：医学部英語面接の典型問題を使ったペア口頭練習を行い、構造と発音・流暢さについてフィードバックと質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：PREP法の4要素／30秒の時間配分／医学部典型質問一覧／つなぎ表現リスト

課題：医学部英語面接の典型質問3問について、PREP構造で30秒以内の英語回答を書いて読む練習をする。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。